

科目名		授業形態	担当教員名	
生理学		講義	三木 雪子	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (1 単位)		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
<p>生きている人の身体は、外界や身体内（外的・内的環境）の変化を刺激として捉え、それに適切に反応する。刺激を情報として感知し、判断して反応の命令を出すのは神経系の働きである。その調節のもとに生命維持活動が絶え間なく行われている。この神経系の活動を中心に、それを支え、またそれによって調節される呼吸・循環・代謝などの生命維持活動の仕組みを臓器、組織、細胞レベルで解説する。</p>				
授業の到達目標				
<p>生命活動全般への理解を深め、専門科目へとつながる基礎知識を得る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細胞の構造と機能について説明できる。 ・神経系の構成とニューロンの働きについて説明できる。 ・各種感覚の神経機構を説明できる。 ・筋の収縮の仕組みと運動神経による調節の仕組みを説明できる。 ・血液循環の仕組みについて説明できる。 				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション 細胞の基本構造と機能（1）： 細胞小器官			
2	細胞の基本構造と機能（2）： 核と細胞機能調節、細胞分裂			
3	細胞膜の働き 神経の基本機能（1）：膜電位、活動電位、興奮伝導			
4	神経の基本機能（2）： シナプス伝達、神経伝達物質			
5	神経系の成り立ち 感覚器系（1）：感覚の意義と分類			
6	感覚器系（2）： 一般体性感覚、嗅覚、味覚			
7	感覚器系（3）： 視覚			
8	感覚器系（4）： 聴覚、平衡感覚			
9	感覚器系（4）： 聴覚、平衡感覚			
10	中枢神経系（1）： 総論、大脳			
11	中枢神経系（2）： 間脳、脳幹； 意識、脳波、睡眠			
12	中枢神経系（3）： 小脳、脊髄			
13	末梢神経系： 脳神経、脊髄神経； 反射			
14	循環系（1）： 心臓			
15	循環系（2）： 血管系（動脈、静脈、毛細血管）			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%			
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
からだの構造と機能	A. シェフラー 他	西村書店		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
実習にも役立つ人体の構造と体表解剖	三木明德	金芳堂		
自由記載	解剖学教科書			
備考				